健康と美容に弘前りんご
毎月5日は「りんごを食べる日」
米の生産調整にご協力を！
弘前市水田農業推進協議会

農業ひろさき

2010年2月1日
（平成22年2月1日）
（第48号）

編集と発行
弘前市農業委員会
弘前市賀田1丁目1の1
☎(0172) 82－1638
印刷 ㈲新和印刷

自らのテーマに向かって

トップランナー塾中間報告会

左から高橋雅和さん、高橋哲史さん、工藤昌弘さん、坂本司子さん

本県農業の未来を切り拓く若手農業者を育成するため、県が20年度から実施している「大きく育て！青春・農起業トップランナー塾」の塾生による中間報告会が12月17日、青森市のラ・プラス青い森で開催されました。

当日は、今年度の塾生と昨年度終了した塾生あわせて40組のうち、20組21人が参加し、それぞれの目標に向けた取り組みについて報告しました。

本市からは、高橋哲史さん（楢木）、高橋雅和さん（大森）、坂本司子さん（愛宕）の3人と、昨年度終了した工藤昌弘さん（前坂）の4人から報告がありました。

高橋哲史さんは「地元のシードルでおもてなし」をキーワードに、地元産りんごを使った混濁シードルの商品化に取り組み、初めての仕込みから試飲会を開くまでの過程と、試飲会を開催したことによってどこを改良すべきかのポイントが見えてきたことを報告。

会社員から一転して酪農の世界に飛び込み、人工授精師の資格をとった高橋雅和さんは、受精卵移植と性判別精液の活用による市場性の高い子牛と高泌乳牛の生産に取り組み、実際に人工授精を試みた結果、まだまだ勉強不足で自分の未熟さを痛感したことを報告しました。

また、野菜ソムリエの資格を持つ坂本司子さんは、自らが栽培した野菜で作った野菜スイーツを多くの人に提供したい夢を持ち、試食アンケートを行った結果、野菜スイーツへの関心の高さが伺えたことを報告しました。

昨年同塾を修了した工藤昌弘さんは、りんごの低農薬栽培と葉取らずりんごによる味の追求に取り組み、ネット販売や対面販売を行い、特にネット販売では、仲間との共同販売により販売力の強化と所得向上につなげることが出来たことを力強く報告しました。

また、本市のもう一人の塾生、佐藤裕介さん（新岡）は、今回都合により出席出来ませんでしたが、魚腸木酢やボカシ肥料で健全な土づくりを実践し、味にぶれのないおいしいりんごの生産に取り組んでおり、他の塾生ともども今年3月に予定されている成果報告会での発表が楽しみです。

新春の話題

弘前城築城400年祭マスコットキャラクター
たか丸くん
がお届けする

今年も良品生産

1月7日、青森県りんご協会による「新春せん定大会」が市内五所で開かれ、生産者約1,300人が集まりました。参加した人たちは、良品生産に向けてせん定の技術を学ぼうと、講師の作業を注意深く見つめていました。

価格上昇を期待

1月5日、弘果弘前中央青果で恒例のりんご初市が開かれました。当日の入荷数量は昨年より3,430箱少ない9,321箱で、取引価格は「サンふじ」の上物で昨年を6～9％上回り、まずまずのスタートとなりました。

弘前市アグリ・マイスター交流会

～弘前の冬の農業を見に行こう～

竹浪さんと一緒に収穫を楽しむ参加者

弘前市農村活性化推進協議会（会長・澁谷長生弘前大学教授）によるアグリ・マイスターと消費者との交流会が12月16日に開かれ、参加した18人は、収穫体験や農業者との交流などを通して冬の農業への理解を深めました。

平成13年度から始まった弘前市アグリ・マイスター制度は、創意工夫に満ちた栽培や経営を展開する先導的農業者を顕彰する制度で、優れた技術や経営感覚を後世に伝え地域の活性化を図ることを目的としています。

今回、参加者と交流したマイスターは、米やりんごのほか、パイプハウスを利用して通年で野菜を栽培している竹浪淳一さん（種市）です。竹浪さんからハウスで栽培しているブロッコリーについての説明を受けた後、収穫体験を行った参加者は、寒さに負けず大きく育つ様子と取れたての切り口のみずみずしさに大変驚いていました。

竹浪淳一さん

参加者からは「どうやって栽培しているのか」「新鮮なブロッコリーの見分け方は」「どこで売っているのか」などの質問が相次いだほか、別棟のハウスで栽培されているアスパラ菜、ほうれんそう、ネギについても説明を受け、冬に栽培されている地元の野菜に興味を示していました。

このほか、つがる弘前農業協同組合のりんご集出荷施設や津軽藩ねぷた村内の農産物直売所などの見学も行われ、冬の農業への理解を深めていました。

農業委員一般選挙

――２月21日（日）投票日――

農家のみなさんの代表者を選ぶ、身近で大切な選挙です。忘れずに投票しましょう。

◆**投票日時**…２月21日（日）午前７時～午後８時

◆**入場券は郵送で**…投票所入場券は、候補者数が委員定数を上回り、投票となる選挙区の有権者だけに郵送されます。入場券が届きましたら投票所名などをご確認ください。

※投票となる選挙区は、２月14日（日）の立候補届出の状況により決定します。

■**問い合わせ先**
市選挙管理委員会事務局　☎35－1129

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧について

「農業委員会委員選挙人名簿」は、みなさんの申請に基づいて調製し、縦覧に供した後、３月31日に確定します。

今回の名簿は、平成22年３月31日から平成23年３月30日まで据え置かれ、この間に農業委員会委員選挙が行われるときは、この名簿に登載されていないと投票できません。

なお、平成22年２月21日に執行される農業委員会委員選挙は、平成21年３月31日に確定した名簿により行われます。

◆**縦覧期間**…２月23日（火）～３月９日（火）

◆**縦覧場所**…市選挙管理委員会事務局（市役所新館６階）※ただし、土・日は１階警備員室

■**問い合わせ先**　市選挙管理委員会事務局☎35・1129

農地制度が変わりました！

農地を相続した場合は、農業委員会への届出が必要になります！

◆相続等によって農地を取得した人は、農地のある農業委員会へ届出が必要になります。

◆届出をしなかったり、虚偽の届出をすると、10万円以下の過料に処せられることになります。

◆耕作できない場合等は、農業委員会から貸し借り等のあっせんを受けることができるようになります。

詳しくは
農業委員会事務局
農地係
☎82－1638へ

農業者年金の経営移譲年金を受給されている方へ

農業所得の申告時期が近づいてきました。

すでに後継者へ農業経営を移譲し、農業者年金の経営移譲年金を受給されている方は、農業所得にかかる申告を後継者名義で行う必要があります。

経営移譲年金受給者の名義で農業所得を申告した場合、農業経営を再開したと見なされ、経営移譲年金が支給停止になりますので、確認の上で申告してください。　■**問い合わせ先**　農業委員会事務局農政係　☎82－1638

戸別所得補償モデル対策について

国は、食料自給率向上と水田農業のてこ入れのため、次の二つの事業からなる「戸別所得補償モデル対策」を行います。

※これらの内容は1月22日時点でのものであり、変更になる場合があります。

水田利活用自給力向上事業

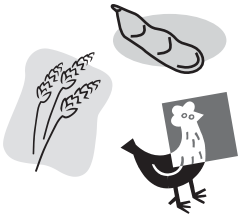
自給率の向上を図るため、水田を有効活用して、麦・大豆・米粉用米・飼料用米等の生産・収穫・出荷を行う農家に対して、直接支払により助成金を交付します。

○10アール当たり交付単価

新規需要米（米粉用・飼料用米等）…80,000円
麦・大豆・飼料作物 ……35,000円
そば、なたね、加工用米 ……20,000円
その他作物 ……10,000円

○交付対象者

米の生産数量目標の達成にかかわらず、全ての販売農家。



○激変緩和措置

このほか、現行に比べて助成額が減少する影響をできる限り緩和するための措置が講じられます。

交付単価表　単位：円/10a

助成対象作物	水田利活用自給力向上事業	水田経営所得安定対策	
		固定払	成績払
新規需要米	80,000	－	－
麦	35,000	27,000	13,000
大豆	35,000	20,000	7,000
飼料作物	35,000	－	－
そば、なたね、加工用米	20,000	－	－
その他作物	10,000	－	－

※麦・大豆の水田経営所得安定対策加入者には上記相当額が加算されます。

米戸別所得補償モデル事業

意欲ある農家が水田農業を継続できる環境を整えることを目的に、恒常的に赤字に陥っている米に対して、所得補償を直接支払により実施します。

○10アール当たり交付単価

定額部分…15,000円
（標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分）

変動部分…当年産の販売価格が標準的な販売価格（過去3年平均）を下回った場合、その差額を基に変動部分の交付単価を算定。

○交付対象者

米の生産数量目標に即した生産を行った販売農家・集落営農組織のうち、水稲共済加入者又は前年度の出荷・販売実績のあるもの。

○対象面積

主食用米の作付面積から一律10アールを控除して算定。

農協並びに市内の集荷業者	電話番号
つがる弘前農業協同組合	82-1052
相馬村農業協同組合	84-3215
津軽みらい農業協同組合	52-5262
一戸　亮二	32-1853
㈱工藤熊五郎商店	32-9181
相馬　澄夫	32-1811
㈱フクテイ	95-2039
成田　公博	93-2247
葛西　与志則	93-3046
工藤　俊雄	92-2131
㈱オヤマ・アグリサービス	82-3553
㈱鶴ヶ谷米店	82-2007

○まずは方針参加を

交付対象となる生産数量目標の配分を受けるためには、生産調整方針への参加が必要となりますので、2月16日までにお近くの農協・業者（左表）に申し出てください。

■問い合わせ先

戸別所得補償モデル対策について…
東北農政局青森農政事務所地域第一課　☎27－6180

米の生産調整について…
弘前市水田農業推進協議会事務局（市りんご農産課水田対策係）
☎35－1111（内線715・716）

お知らせ

第9回食を考えるつどい

米粉を利用した加工品や料理について、みんなで考えてみませんか。加工品等の無料試食もあります。

◆とき　２月19日（金）午後1時～午後3時
◆ところ　ホテルニューキャッスル（上鞘師町）
◆内容　テーマ「米粉の利用」①講演…講師・澁谷長生氏（弘前大学農学生命科学部教授）②事例発表③米粉の加工品等の試食
◆参加料　無料
◆定員　１２０人（先着順）
■問い合わせ・申込先　２月17日までに弘前市農村活性化推進協議会事務局（市農政課内☎82・１６３５）へ。

特産果樹講演会

果樹複合経営普及のため、栽培・販売において先駆的な取り組みを紹介する特産果樹講演会を開催します。

◆日時　２月17日（水）午後1時30分～午後3時
◆会場　つがる弘前農業協同組合本店3階ホール（城東北4丁目）
◆講師　八戸農業協同組合果樹総合部会部会長　泉山茂氏
◆演題　「特産果樹導入への取り組みと販売戦略」
◆参加料　無料
■問い合わせ先　市りんご農産課☎35・１１１１内線７１８

農産物づくり講演会

昨年度に引き続き、弘前・岩木・相馬の各地域の認定農業者連絡協議会主催により、左記のとおり講演会が開催されます。

皆様の参加をお待ちしております。

◆日時　２月12日（金）午後1時30分から午後4時（午後1時から30分の間、担い手活動のPRや農産物加工品等の試食も行います。）
◆場所　岩木文化センター「あそべーる」（賀田一丁目）
◆講演会
講師…（株）渡辺採種場取締役販売部長　佐藤士郎氏
演題…「今年の天候と農産物づくり」
◆参加料　無料
■問い合わせ先　市農政課農業振興係☎82・１６３５

講師：佐藤士郎氏

りんご栽培講座

弘前市りんご公園では、りんご生産者を対象に初心者向けのりんご栽培講座を開催します。

◆日時　２月23日（火）～25日（木）午前10時～12時　午後1時30分～3時30分
◆場所　りんごの家集会室・園地（りんご公園内）
◆募集人員　市内に居住するりんご生産者（初心者）30人（先着順）
◆講師　①・③・⑤中南地域県民局地域農林水産部普及指導室職員②・④・⑥弘前市りんご専任指導員
◆受講料　無料
■申込み・問い合わせ先　弘前市りんご公園☎36・７４３９

（写真は昨年の様子）

※講座内容は天候や講師の都合により予告なく変更することもありますのでご了承ください。

日程	講座内容（予定）	
	午前	午後
23日（火）	①りんごの園地づくりと品種	②りんごづくり12か月
24日（水）	③りんごの病害虫防除	④剪定のはなし
25日（木）	⑤環境にやさしい土づくり	⑥りんご剪定の実技（普通樹）

近年続く異常気象に備えて

りんご共済

安心のネットワーク NOSAI

『被害限定補償』
22年産申込受付中！

【対象となる災害】…風害・ひょう害・凍霜害
【対象となる割合】…２割～３割以上の被害から共済金が支払われます。
（加入方式によって異なります。）
【掛金と補償額】…申込みは箱数単位となります。
★掛金は１箱60円～100円（『ふじ』の場合）
※品種・加入方式等によって異なります。
★補償額は最高で１箱2,800円
（『ふじ』の場合）※品種によって異なります。

○掛金の半分は国が負担！
○防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引！
○弘前市が新たに掛金（賦課金を除く）の15％を助成します！

詳しくはひろさき広域農業共済組合まで
☎28－５７００

（弘前市は、農業共済組合と連携して加入促進に努めていきます。）